

2021（令和3）年度 事業報告 概要

杉並育成園すだちの里すぎなみ グループホームらいむ松庵

1. 事業概要

- (1) 名称 社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会
杉並育成園すだちの里すぎなみ グループホームらいむ松庵
- (2) 所在地 すだちの里
〒167-0035 東京都杉並区今川2丁目14-12
らいむ松庵
〒167-0054 東京都杉並区松庵2丁目22-26
- (3) 連絡先 すだちの里
TEL 03-5310-3361 FAX 03-5310-3561
らいむ松庵
TEL 03-5336-6681 FAX 03-5336-6682
- (4) 事業種別 すだちの里
障害福祉サービス 障害者支援施設（入所支援 生活介護 自立訓練（生活）
就労移行支援 短期入所）
杉並区委託（緊急時対応ショート事業）
らいむ松庵
障害福祉サービス（共同生活援助）
- (5) 定員 施設入所支援 50名（入所現員50名）
生活介護44名（現員44名） 自立訓練6名（現員6名）
就労移行6名（現員3名） 短期入所6名
共同生活援助12名（現員12名）
- (6) 職員数 常勤41名・非常勤24名 計65名
すだちの里常勤36名 非常勤22名 らいむ松庵常勤5名 非常勤2名

2. サブミッション

【すだちの里】

「地域で自分の生活を始めよう」をスローガンに、一人ひとりにふさわしい地域生活への移行と、その後の生活を支援します。

【らいむ松庵】

「地域の中で自分の想いを実現しよう」をスローガンに、1人ひとりが安心して地域生活ができるよう支援します。

3. 本年度重点目標に対する結果

【すだちの里】

(1) 地域福祉への貢献

令和3年4月に杉並区で地域生活支援拠点が面的整備され、当施設が「緊急時対応ショート事業」を受託した。令和4年1月に受け入れ態勢を整備したが、感染再拡大により実際の運用は令和4年度からとなった。

通常のショートステイ、24時間安心サポート事業（区独自）、緊急時対応ショート（区独自）の3つのショートステイの受け入れを関係機関と連携して受け入れ体制を構築していく。

(2) 地域移行の促進

これまでの地域移行支援の実績からネットワークが構築されており、グループホームの情報収集が日常的に行えている。積み上げてきた地域移行の実績が信頼に繋がり、現在の入所利用者の地域移行を後押しする事例がいくつも見られた。

開所して15年を迎え、改めて杉並区と協議する機会を作った。すだちの里のコンセプトである地域移行を再確認し、地域での役割についても共通認識を持つことができた。

築いてきた実績やネットワークを維持し、地域やサービスを開拓できる人材を育成して、地域移行の施設としての使命を貫いていく。

(3) 職員の資質向上

法人のキャリアアップ研修とは別に、施設内で新任や異動職員を対象にした研修、2等級職員を対象とした研修、リーダー層を対象とした夜間責任者研修を実施した。2等級研修はグループワークと発表の構成で実施し、限られた時間で成果物を発表し合うことで、育成はもちろん部門間の相互理解にも繋がった。

さらに、主任、リーダーから高齢化や地域移行について事例発表し合う機会もあり、アウトプットによる学びの促進が見られた。次年度はより多くの職員がプレゼンできる機会を設定して職員育成に取り組む。

【らいむ松庵】

(1) 自分らしい地域生活への支援

利用者の高齢化・重度化による様々な状態の変化により、安全・安心な地域生活を継続するために、居室環境の整備や支援方法の見直しが多く必要となった。支援手順書の見直し等拠点が持っているノウハウを活用し、連携・協力して対応した。

グループホーム内の権利擁護体系は、虐待防止委員会と権利擁護委員会の相互の取り組みの運用が始まり、支援の質や課題解決力の向上について話し合う機会となった。

(2) 職員の資質向上（すだちの里と共通）

法人のキャリアアップ研修とは別に、施設内で新任や異動職員を対象にした研修、2等級職員を対象とした研修、リーダー層を対象とした夜間責任者研修を実施した。2等級研修はグループワークと発表の構成で実施し、限られた時間で成果物を発表し合うことで、育成はもちろん部門間の相互理解にも繋がった。

さらに、主任、リーダーから高齢化や地域移行について事例発表し合う機会もあり、アウトプットによる学びの促進が見られた。次年度はより多くの職員がプレゼンできる機会を設定して職員育成に取り組んでいく。